

## 資料に親しむ会 令和8年度第1回

### 「16世紀の京都 上杉本洛中洛外図から」

京都府立京都学・歴彩館元職員が講師を務め、資料に親しむ会「16世紀の京都 上杉本洛中洛外図から」を、下記のとおり開催しました。

#### 記

- 日 時 令和8年5月20日（水）午後2時30分～3時30分
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール
- 参加者数 117名
- 内 容 室町期の4つの洛中洛外図や屏風の見方、洛中洛外図における上杉本洛中洛外図屏風の位置づけについて解説した。  
上杉本洛中洛外図屏風について、当館所蔵の資料をはじめ京都で複製本を見ることができる施設についても紹介した。  
また屏風に描かれた図像を取り上げ、狩野永徳が23歳の時に描いた魅力に触れながら、16世紀の京都の町並みや季節ごとに描かれた行事を詳しく解説した。
- 参加いただいた方々のご意見（参加者アンケートより）
  - ・歴彩館所蔵の本を集めて下さって興味関心を広めることができました。
  - ・室町時代の暮らしがよくわかりました。現代にも続く行事があること、とても興味深いです。
  - ・虚実ないまぜの風景や年中行事のこと、当時の京の情景をありありと感じさせていただきました。

（講座の様子）

